



会派みどり
山本 正信

市政運営の基本的な考え方について

質問 2期目の折り返し点での公約達成率と財政健全化について伺う。

答弁 イレブンプラスワンの取り組みについて、すべてにおいて実施もしくは着手しています。また、事業の見直しなど着実に財政健全化に取り組んでいます。

元気な産業と活力あるまちづくりについて

質問 老朽化した穀物乾燥調整施設（北の米蔵）の更新について考えを伺う。

答弁 運営主体の農協と有利な国の補助事業の活用を検討し、平成30年度採択に向けて空知総合振興局とも協議を進めています。

豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくりについて

質問 菜の花関連商品を通じた地

場産業育成について伺う。

答弁 行政主導ではなく、民間の発意が重要であり、市の助成制度を有効に活用してもらいたいと考えています。

質問 りんご園の振興について伺う。

答弁 果樹協会と協議しながら支援を続けたいと考えています。また、地域おこし協力隊による果樹栽培取組を新たなモデルとして期待しています。

質問 丸加高原伝習館のあり方を考える時期が来たのではないかと考える。

答弁 老朽化から宿泊機能は休止状態ですが、美しい景観・自然体験の場として認識しています。今後機能の集約を含めて検討します。

質問 菜の花まつりに向け、協力農家との緊密な関係を築くため、情報共有がなされるのか伺う。

答弁 農作業への影響を及ぼさないよう、駐車場の設置や交通規制などについて、地元生産者や町内会と連携を密にしていきます。

質問 地域おこし協力隊の任期満了時の支援策について伺う。

答弁 総務省の制度に基づき、隊員には起業時に100万円を上限

に支援が可能となっています。今後も定住・定着を促進するために相談やフォローアップを行います。

機能的な生活基盤の充実したまちづくりについて

質問 老朽化した公共施設用地の企業誘致への活用について伺う。

答弁 滝川市公共施設マネジメント計画に基づき、官民連携によるまちづくりの研究を進め、建物のリノベーションをはじめ、空き地の有効活用など、事業者を発掘・育成し、公有財産の有効活用を図りたいと考えています。

質問 にぎわい広場が廃止となったが、平成29年度以降の考え方について伺う。

答弁 中心市街地の活性化についてイベント等の開催も重要ですが、老朽化した建物や空き地の有効利用など、新たな事業者育成が重要と考えており、にぎわいづくりのため未来を見据えて各種事業を実施していきます。

誰もが住みよい安全安心なまちづくりについて

質問 市立病院の経営計画で赤字

解消に努めるようだが、将来、指定管理などの民営化の考えについて伺う。

答弁 全国には指定管理のところもあります。経営的には厳しいですが、他の自治体病院と比較すると努力しており、当面は計画に基づき経営改善に努めていきます。

未来にはばたく子どもたちを育むまちづくりについて

質問 （仮称）女性活躍推進センターの内容について伺う。

答弁 総務文教常任委員会でのセンターのイメージを報告しており、それと大きくは変わらない予定です。求められる機能のうち、子育て世代包括支援センターの機能については、平成30年度設置を目指し準備を進めています。

教育行政について

質問 市営球場の改修について他市町に負けない改修となるのか。

答弁 各利用団体の要望を踏まえ、利用者が支障なく利用できる環境を確保できるよう改修します。今後利用者意見の聞き、改修等に努めます。